

清田区民フォーラム2011

11月4日、きよたまちづくり区民会議と清田区の主催による「清田区民フォーラム2011」が区民センターで開催されました。区民フォーラムは毎年清田区の誕生日に行っているもので、今年は東日本大震災が起こったこともあり、防災について考える内容でした。

第1部では、きよたまちづくり区民会議の林進一幹事長から、今年8月～9月に各町内会の協力で実施した『防災アンケート』の集計結果について報告がありました。

一般世帯に対するアンケートの回答率は町内会加入世帯の65%と高く、住民の防災への関心の高さが伺えます。その集計結果(10月26日現在)の一部を紹介します。



第1部 防災アンケート結果発表!

◆◆◆一般世帯に対するアンケートの結果◆◆◆

1. 災害が発生した場合、特に不安に思うことはどれですか?(複数選択可)

1位	家具の損壊・火災の発生	73%
2位	家族の安否確認	64%
3位	食料や飲料水の不足	44%

特に「家族の安否確認」については、5地区の中で里・美地区が68%と一番高く、年少人口(0～14歳)が一番多いことが関係していると思われる。

2. 災害に備えてどのような対策をしていますか?

家具の転倒・落下防止措置			
している	28%	していない	68%
非常用食品・飲料水			
している	32%	していない	65%
非常持ち出し品			
している	34%	していない	62%

3. 非常持ち出し品としてどんな物を準備していますか?(複数選択可)

1位	懐中電灯	78%
2位	ラジオ	58%
3位	飲料水	51%

4. 避難場所や避難経路を知っていますか?

はい	52%	いいえ	46%
----	-----	-----	-----

5. 地域で行われる避難訓練等の防災活動に参加していますか?

はい	12%	いいえ	85%
----	-----	-----	-----

6. 防災活動に参加していない理由は?(複数選択可)

いつどこで行われるかわからない	58%
家事や仕事で忙しく参加できない	48%

◆◆◆町内会に対するアンケートの結果◆◆◆

1. 防災訓練はどの程度実施していますか?

毎年実施している	46%
5年以内に実施した	22%
5年以上実施していない	29%

2. 訓練の企画や実施にあたって課題だと感じていることは?(複数選択可)

1位	参加者が集まらない	73%
2位	実効性のある内容の企画が難しい	49%
3位	ノウハウが不足している	45%

特に里・美地区では、「参加者が集まらない」と「スタッフが足りない」がいずれも72%と高くなっています。訓練の実施には多くの住民が参加できるような工夫が求められているようです。

清田区防災訓練

まだ記憶に新しい東日本大震災の惨状から、あと少しで半年を迎えようとする8月31日、清田西公園で清田区防災訓練が実施されました。

今年は天候、気温など訓練に適した中で、設定された各項目へ取り組みました。例年と違うのは、さきの大震災を教訓とした防災対応型の訓練でした。実際に用意された倒壊家屋からの救出や避難誘導などの訓練に、皆さん真剣に取り組んでいました。

今回は、清田中央地区町連が担当、市・区職員とともに準備などのご苦労をされました。里・美地区からも約30名が参加し、AED訓練と煙道くぐりなどを体験しました。

清田地区は幸いにも津波の心配はないと言われていますが、豪雨や川の氾濫に備え、土のうづくり・土のう積みの体験も行いました。

清田南小の児童も参加し、大人に交じってのバケツリレー消火に一生懸命取り組んでいました。



第2部 講演会!

「阪神・淡路大震災の体験をとおして」

区民フォーラムの第2部では、神戸市在住の城戸秀則氏から「阪神・淡路大震災の体験をとおして」と題して講演がありました。城戸氏は、震災後の地域の防災やまちづくり活動に携わり、その経験や教訓を役立ててもらおうと全国各地で講演活動を行っています。

特に、地震発生後の30分ほどは余震が続いて何もできなかったことや、避難所となった学校に2千人ほどが集まり、寝るスペースも十分でない中での長い避難所生活についてお話を伺うと、私たちの想像以上の状況です。その大変な避難所生活の中で潤滑油となったのは、自治会や婦人会、老人会で活動している方々だったそうです。「災害時に住民が力を合わせて行動するには、日ごろのつながり、顔の見える関係が大切であり、地域の行事に住民に参加してもらうことも大事なことです」と話していました。普段の町内会活動が災害時の大きな力につながることを認識した講演会でした。



第11号 2011.12.1 発行

里塚・美しが丘
地区町内会連合会

札幌市清田区里塚2条5丁目1-1
里塚・美しが丘地区センター内
電話 011-884-1210

里・美地区ホームページアドレス
<http://www4.ocn.ne.jp/~satomi0/>

◆◆◆左上のアンケート結果をうけて◆◆◆

この住民アンケートで把握されたことは、防災への関心が高いものの、日ごろの備えが十分とはいえない実態でした。そこで、きよたまちづくり区民会議では、アンケートの結果を反映させ清田区独自の内容を盛り込んだ、防災に関するパンフレットを発行し、各家庭に配布する予定とのことです。また、最終的なアンケート集計結果は、各町内会へ情報提供され、地域防災力の向上に役立ててもらおうとしています。

冬型事故に気をつけて!

交通安全
街頭啓発

里・美地区の交通安全運動街頭啓発が7月22日に国道36号ブックオフ付近、9月26日は羊ヶ丘通フードロ付近で実施されました。両日とも多くの方々が参加、交通安全を呼びかけました。池田佳恵区長から参加の皆さんにお礼と、日没が早くなる秋から冬へ向けて心配される点について話がありました。

また、豊平警察署・佐藤署長からは、9月に発生した死亡事故を例にあげ、被害者、加害者ともに若者で非常に心が痛みますと報告があり、交通安全への十分な配慮を呼びかけました。両日とも好天に恵まれ、走行車両に無謀運転やシートベルトの未着用は見られませんでした。

冬の同運動は11月15日、区役所前広場で決起集会が行われ、年末にかけて飲酒の機会が増えるので、飲酒運転は絶対にしないなど、なお一層の交通ルールの遵守が呼びかけられました。そして、国道36号西友付近で街頭啓発を行いました。

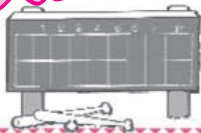
雨が降ってもなんのその...

ゲーム &
ウォーキング

9月4日の悪天候で順延されていた町連体育部主催のゲーム&ウォーキングが、9月18日の日曜日に実施されました。この日も雨が心配される空模様の中、平岡公園をベビーカーの幼児や子ども連れの親子、友人同士、ご夫婦など約70名で出発、紅葉にはまだ早い平岡公園の森林浴などを楽しみながらの散策でした。途中からの小雨もなんのその、子どもたちも元気に歩き楽しんで歩きました。

途中の公園で休憩し、ビンゴゲームを楽しんでゴールの日の丸団地町内会館へ着きました。雨が濡れてしまいましたが、町連女性部と町内会の皆さんが如てで用意してくれた熱いトウキビをいただき、冷えた体を温めました。

ビンゴゲームの景品がこで渡されましたが、面白い趣向で盛り上がりしました。例えば「高齢で育毛の見込みがない人には「育毛剤」は当たりません...」など、体育部の方のユーモアを交えた進行で、なごやかな雰囲気の中、来年の再会を約束して散会しました。参加された皆さん、企画運営、お手伝いの皆さん、お疲れ様でした。

無念...
決勝進出ならず!
壮年野球大会

8月21日の日曜日、恒例の地区対抗壮年野球大会が清田公園野球場・サブグラウンドで開催されました。小谷雅彦代表が率いる我が里・美チームは、1回戦で清田区役所チームと対戦し、3対2で勝利。続く2回戦では昨年の決勝戦で敗れた清田中央チームと対戦。昨年、一昨年と準優勝の里・美チーム、今年こそは優勝をと期待され選手たちも優勝を果たし念願のユニフォーム新調となるか???.....と奮闘しましたが、1対4で無念の敗退となり、決勝に進むことはできませんでした。

優勝は2年連続で清田中央チームでした。来年はいい結果を残せるよう応援しています。

子どもたちに大人が手本を見せましょう!

子どもを見せる本

第12回となる今年度の大会は、7月19日夜、里・美地区センターで関係者86名が出席し開かれました。地区青少年育成委員会・山部明夫会長と町連・大形修三会長から「安心・安全なまちづくり」に、各方面と連携して子どもたちを守りたい」と挨拶がありました。

今回は、夜の開催にもかかわらず、真栄中学校生徒会から2名の生徒が参加し、地域の様子や活動について感じていることを話してもらいました。生徒たちは、大人が取り組む活動に理解を示してくれています。吸殻のポイ捨てや路上駐車が多いことなど大人のマナーへの指摘もありました。二人は「挨拶の大切さやラジオ体操後の爽快感、夏祭り参加の達成感など、町内会行事やボランティアへの参加の楽しさを多くの生徒に呼びかけたい。そして、これからも積極的に参加したい」。また、「パトロール車を見かけると安心するので、地域の防犯活動の輪がさらに広がってほしい」と話してくれました。



真栄・平岡・平岡緑中学校3校の先生からは、生徒の様子や活動についての報告がありました。また、区少年育成指導員の佐藤加代子さんからは、夜遅い時間帯の子どもの連れでの遊技場利用など、大人には耳の痛い苦言がありました。

最後の講演は、札幌国際大学の佐久間章先生でした。多くのお話があったなかで印象に残ったのは、あらゆる物の注意書きについてです。使用者が判断すべきことまでも書いてあり、自ら考え想像し判断する能力が衰退しないかと、例をあげての説明でした。

今年度の標語「大人が見せる手本」が発表され、最後に、中央通交番・小林誠司所長と、里・美まちづくりセンター・竹田瑞恵所長からの総評で終わりました。

福まちふれあい
まつり'11

10月15日、「里・美地区福まちふれあいまつり'11」が地区センターで開催されました。これは、里・美地区社会福祉協議会(福祉のまち推進センター)が、地域のふれあいを深め、福まちの活動について住民に知ってもらおうと、清田区社会福祉協議会と共催したもので、約600人が訪れました。

演奏や踊りの発表では、地域の共同作業所フレンドシップハウス「シオン」の皆さんが登場し、トーンチャイム(ハンドベル)の息の合った演奏に温かい拍手が送られていました。また、地元の若手アーティスト3組の歌と踊りのステージでは、若い人も高齢の方も一緒に盛り上がりしていました。

一方、手作りのいも団子汁が無料で振る舞われたほか、産地直送のジャガ芋「インカのめざめ」や玉ネギ「札幌黄」、手作り小物やリサイクル品の販売などチャリティバザーもにぎわいを見せていました。

まつりには、ボランティアとして平岡中学校の生徒も販売やステージの司会などを手伝い、地域の人たちとふれあいを深めていました。

第4回 里・美地区町連 秋まつり

秋晴れの9月25日(日)、町連主催の秋まつりが地区センター内外で開催されました。町内会・自治会が一体となり、行政各部署の支援や民間団体の協力で、にぎやかな楽しいまつりとなりました。

池田佳恵区長の挨拶の後、北修学園マーチングバンドの皆さんの演奏で開会。可愛い子どもたちのバンド演奏を皆さん笑顔で聞き入っていました。



今回新たに「子どもを守る安全教室」で不審者に出会ったときの対処の仕方などを学習し、児童会館の「遊びコーナー」などで楽しみました。昨年は体験できなかった「ハシゴ消防車の乗車体験」も人気があり、「バナナの叩き売り」も大盛況でした。焼き鳥や焼きそばなどのいいにおいや煙が手作りのまつりを実感させます。昼食メニューや野菜販売も好評でした。来場された延べ780名の方々に、ボランティアを加え約1,000名の秋の一日でした。地区センターをはじめご協力頂いた皆様、お疲れ様でした。楽しかったひと時の思い出をスナップ写真で紹介します。



あしりべつ郷土館まつり

先人の労苦をしのび歴史を伝えていこうと、清田区の住民で設立を呼びかけ開館したあしりべつ郷土館。

今年度も里塚・美しが丘地区町内会連合会が担当して「あしりべつ郷土館まつり」を開催します。

ぜひご来場ください。

冬休みの一日を
楽しく過ごそう!



日時	平成24年1月12日(木)	受付終了
	午前10時20分～午後2時30分	午後2時
内容	郷土館見学、バナナの叩き売り、駄菓子屋さん・昔遊び・読み聞かせコーナーなど	
会場	清田区民センター(清田1条2丁目)	

ふれあい音楽祭

10月16日、まちづくり運営委員会「里美ふれあいクラブ」の主催による「ふれあい音楽祭」が開催され、会場の地区センターには約100人の聴衆が詰めかけました。

ステージには民謡北海道チャンピオンや江差追分全国チャンピオンが登場し力強い歌声を披露。続いて尺八とギターによる演奏は「与作」といった演歌から「コンドルは飛んでいく」「また君に恋してる」などの洋楽・歌謡曲まで幅広く、尺八の多彩な音色に皆さん、聞き入っていました。また、来場者全員参加で昔懐かしい歌を合唱するコーナーもあり、楽しい音楽祭でした。

なお、入場料の一部など5万円が東日本大震災被災地への支援として、さぽーとほっと基金(札幌市市民まちづくり活動促進基金)に寄付されました。



☆地域トピックス☆

第11回東日本学校吹奏楽大会金賞受賞 平岡中学校スクールバンド部

「高い目標と強い意志を持って」

平岡中学校スクールバンド部 顧問 中田 久雄

平岡中学校スクールバンドは10月9日、神奈川県横須賀市で行われた第11回東日本学校吹奏楽大会に2年連続で出場し、2年連続金賞を受賞しました。出場者27名中14名が1年生という実情を考えると、奇跡的なことです。

「高い目標と志、それを具現化するための強い意志」これが本校スクールバンドのモットーですが、そのとおり生徒たちが懸命に努力した事実がこのような結果をもたらしたといえるでしょう。

練習は生徒たちにとって非常に厳しいものであったと思います。大人でも難しい曲を、大人と同じ楽器で中学生が完璧な演奏を目指すわけですから、非常に高いハードルです。しかし誰一人あきらめず目標に向かって努力し、「夢」を「夢」で終わらせなかった生徒たちに、心から拍手を送りたいと思います。

11月3日の第19回定期演奏会で3年生は引退し、現在は2年生4名、1年生19名、計23名で活動しています。定期演奏会を聴きにきていただいた地域の方から「音が澄んで美しい」「上品ながら力強い」「音楽には力があると思いました、感動しました」と感想が寄せられました。新しいメンバーでもこのように聴いている人々が感動を覚えるような質の高い演奏を目指して、日々練習に取り組んでいるところです。

最後に平岡中学校区の小学生の皆さん。ぜひ、入学したらスクールバンドに入部しましょう。何事にも代えがたい素晴らしい体験と感動に包まれた3年間になることでしょう。



第64回全日本合唱コンクール金賞受賞 真栄中学校合唱部

「子どもたちとの素敵な出会い」

真栄中学校合唱部 顧問 小山 薫

真栄中に転勤し、合唱部を受け持ってほしいといわれたのが今年の3月。私は転勤が決まっただけでも不安な気持ちでしたのに「毎年全国大会へ出場している合唱部を引き継ぐなんて、なぜ私が…」という気持ちで、プレッシャーに押しつぶされそうでした。

赴任して早々に合唱部の部長が挨拶に来て「よろしくお願いします」と言われましたが、正直まだその頃は「これが夢でありますように…」と現実から逃げ出したい心境でした。

今までご指導されていた三澤先生から顧問が代わったことで、生徒たちの方が不安やとまどいがあったと思いますが、そんな素振りを何一つ見せずについてきてくれて、今回の全日本合唱コンクール金賞受賞という結果を残すことができました。今はとにかく一途な姿勢で努力してきた生徒たちに感謝しています。また、保護者や地域の皆様の温かいご支援に感謝しています。



まだまだ指導者としては未熟ではありますが、この出会いを大切に「真栄中学校合唱部」存続のために努力していきたいと思っています。

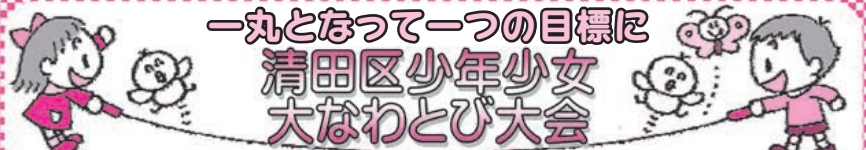
おめでとう20周年！ 里塚児童会館 開館20周年記念式典

11月12日(土)、里・美町連の大形会長をはじめたくさんの来賓と関係者、子どもたちと保護者が出席し、札幌市里塚児童会館の開館20周年記念式典が里塚児童会館で行われました。

館内のいたる所に開館20周年を祝う装飾が可愛らしく施され、華やかな雰囲気の中、子ども運営委員の子どもたちが司会進行を務め、お祝いの言葉の後、20年を振り返るスライドショーに続き、子どもたちのリコーダー演奏や「ディズニーダンス」「マルモリダンス」が披露されました。そして、ジャグリングパフォーマーの「Kuro」さんによる素晴らしいジャグリングショーでは、子どもたちは「ワーワー、キャーキャー」歓声を上げて喜び、大人も子どもも楽しみながら20周年のお祝いをしました。



一丸となつて一つの目標に 清田区少年少女 大なわとび大会



第14回清田区少年少女大なわとび大会が11月12日(土)に清田区体育館にて行われました。今年は、区内小学校43チーム、616名の子どもたちが参加しました。里・美地区は、三里塚小から1チーム・平岡南小から9チームが高学年の部で参加しました。

22年度の優勝杯が返還され、林進一大会長、池田佳恵名誉大会長の挨拶の後、選手の子供たちは、来賓の方々、引率の先生、保護者の皆さんと一緒に準備体操を行い、低学年4チーム・中学年13チーム・高学年26チームがA・B・Cそれぞれのコートに分かれて、挑戦が始まりました。

コートの中では、「1・2・3」と数える大きな声、なわとびの縄が「バシン、バシン」とコートに響きます。2階のデッキからは、「がんばれ！」の声援と大きな拍手の嵐です。

低学年の優勝は、清田緑小「ミドリソックス」41回、中学年の優勝は、北野台小「ミラクル北野台ジャンプ18」55回、高学年の優勝は、清田緑小「Dream絆ー's 32A」521回と見事な記録で、まさに絆が結ばれました。平岡南小「平岡南ONE PIECE」が281回で高学年の部の準優勝でした。

それぞれ挑戦を終えた子どもたちの顔は、やり遂げた達成感で満面の笑みをたたえていました。やったね！おめでとう！！

青少年育成委員会など大会関係者、指導にあたった先生方、保護者の皆さん、お疲れ様でした。



編集後記
なわとび大会の応援の後には、ワールドカップバレーボールの応援。きたえるには行けず、狭い我が家からの「がんばれ日本」の叫び。届いたのか、世界女王のブラジルに勝利！サッカーにも「がんばれ日本」。スポーツの秋も終わり、銀世界に包まれる季節です。
まもなく、震災から10ヶ月「冬」にまけるな、がんばろう東北「雪にまけるな、がんばろう北海道」。

広報部
部長 金江 大次
副部長 南部由貴恵
副部長 奥谷 典子
オザーバー 竹田 瑞恵